



日本周辺では実際の戦争は「まだ」起きてはいませんが番組を見ていると、岩国や沖縄（日本全体も）の「今」は、どこか 1941 年 12 月 7 日までの日本と重なるように思えました。

### 会場で出た主な意見です

- ・軍の本務は住民を守ることではない。普天間の危険は米軍に日本の航空法を適用すればよい。独・伊は地位協定を改定。自国の法を米軍に適用している。自衛隊がやろうとしているミサイル迎撃は不可能だ。
- ・NHK スペシャルで与那国の問題を放送していた。町長は「島の繁栄」のために基地受け入れるが反対論も多い。岩国の現状には驚いた。近所の人と話（戦争の危機などの）をしても通じない。
- ・岩国も沖縄も住んだことがあるが、番組を見て驚いた。日本も周辺の現状を考えると心配になる。
- ・岩国を見ると、地域振興の名で人の心が変わる、心配だ。若い母親が「基地のおかげ」と言うのに絶句。この頃のテレビも心配。8 時台の番組で若い世代に人気のカズレーサーを自衛隊基地で、戦闘機に乗せて取りこんでいく。各務原の航空祭のニュースで子どもが喜ぶ姿が映される、同世代の人が得意がって航空祭の様子をスマホで撮っている、どれも心配だ。
- ・「戦前リアル」のタイトルは今の日本をリアルに示している。交付金（政府のアメとムチ）は恐ろしい。米軍との関係で自衛隊の基地の再編も進む、北海道の遠軽では基地がなくなると若者が地域からいなくなるという、米国追従の日本政府のありようは情けない。軍拡の費用を暮らしにまわせば良い。
- ・戦争は尊い命が奪われる、絶対反対。
- ・翁長知事の選挙応援に沖縄に行ったが、歴史があるから沖縄はそう簡単には変わらない。
- ・基地も原発も同じだ、貧しい地域に札束を持って行って押し付ける。ウクライナもガザも軍需産業はもうけている。多くの人は関心がない。
- ・基地がないと生活ができない人もいるが、九条の会の地道な活動はとても大切だ。
- ・アメはいつまでももらえない、もらえなくなると強制（イジメ）だ。沖縄の座間味村で講演を頼まれた、講演後「集団自決」の現場に案内された、戦争は住民を守らない、軍は危険になると逃げていく。協力しないといじめられる。歴史を知ればわかる。米国は戦争を欲している、背後には軍需産業、戦争を作る。
- ・子どもたちに戦争の話が頼まれているが何を伝えたらよいか？←銃後の暮らしの悲惨さを伝えるもよい。
- ・80 年前東南海地震があり甚大な被害が出たが戦争中だから報道されず、なかったことに。それが戦争だ。

### 次に寄せられた感想文から（意見交換と重複する分は省かせていただきます）

- ・情報がかくされ、意図的に都合のいい方に導かれていると思う最近ですが、今日みた映像を伝えなくては……と思いました（まずは「実家の弟夫婦に！友人に！」）
- ・岩国基地の現状を知れてよかった。長良九条の会の方に感謝。学ぶことは希望につながる。
- ・初めて出席させてもらいました。いいビデオを見させていただきました。いい活動をされてますね。今後の活動期待しております。
- ・歴史から学ぶことは何より重要。学ばない者は盲目になり暴走する。もう少し柔らかい雰囲気が必要だ。優しい言葉で、笑って話す、楽しい集いにしないと魅力がない。（文責 井川敏郎）



### 沖縄、戦前は日 VS 米の間で、今は「日米」VS 中の間で

右の地図は、琉球新報が昨年 12/1 付朝刊に掲載した地図です。この地図をよくご覧ください。大日本帝国が対米戦争で想定したのは「決戦線」が南西諸島、その「前哨戦」は小笠原諸島としていました。つまり日米対中国を巡って今盛んに言われている「第 1 列島線」と「第 2 列島線」と全く同じではありませんがよく符合しています。

私たちの日本国は、ドキュメンタリー「戦前リアル」が描いたように、今も昔も沖縄を犠牲にしようとしていると改めて思います。「有事」には先島諸島から住民を避難させると言いますが、12 万人がどうやったら安全に避難できるのでしょうか。さらに米軍基地が集中する沖縄本島も安全ではあり得ません。

よろしければお出かけください（詳しくは同封のチラシをご覧ください）

1月19日の行動（戦争法・軍拡反対、平和を求める行動です、毎度急な話ですみません）

- ・1.19 岐阜総がかり行動 集会とデモ（場所 清水緑地公園（JR 岐阜駅南）10:30～12:00 ごろ
- ・島・則武・早田有志スタンディング（場所忠節橋北坂下交差点）7:45～8:15

2月9日 「ノーベル平和賞受賞木戸季一さんを囲む会」 PM2:00～ 場所 西部コミセン